

～福祉コース 2学期の授業より～

バルーンアート講習会 11月17日



バルーンアーティストの前田奈々先生に教えていただきました。



• 空気の入れ方やひねり方で、出来上がりが違うことに驚いた。作るのに時間がかかり過ぎると見ている人は飽きると思ったので、作るスピードも大切だと思った。



• 今回の授業では、人を喜ばせることの楽しさや嬉しさを知ることができた。バルーンアートを練習して、人を笑顔にできたらいいなと感じた。

• 子どもたちにプレゼントしたら喜んでもらえると思った。また、作るのも楽しかったので、たくさん練習して子どもたちと一緒に作っても喜んでもらえると思った。



• バルーンで何でも作れることに驚いた。1本の長いバルーンで、動物や植物、服や帽子など作ることができるのはすごいなと思った。

・風船はすぐに割れてしまうイメージがあったが、ねじっても割れなかったので、思っている以上に丈夫なのだと思います。完成した作品を持ち帰り、家族にあげたら喜んでくれたので、バルーンアートは自分だけでなく、多くの人を喜ばせるすごい技だと思います。



・バルーンアートができるようになれば、幼稚園や保育所だけでなく、さまざまな施設で披露でき、喜んでもらえるのではないかと思います。今は、実習に行くことができないけれど、実習に行くことがあれば、披露したいと思いました。

・できない人に教えてあげたり、できている人に教えてもらったりできたので、バルーンを通して自然と会話が増えた。このようにみんなと同じことをやって楽しさを共有することができたので、嬉しかった。

